大阪市教

2010年4月8日
VOL. 458

編集・発行人=中路 龍太郎
発行所=大阪市学校園教職員組合
大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990

不安がふっとびました

連続講座 わくわく学級びらき

前田さん

先輩のワザ伝授連続講座第1回が4月2日行われ多くの新採用者を含む90人が参加しました。その場での組合加入もありました。

講師の長吉出戸小の前田睦男さんの講演に「大阪市は初めてなので不安でしたが、それもふっとびました」「とても楽しかったです。始業式が楽しみになりました」と感想が寄せられるすばらしい講座となりました。

前田さんの学級びらきのワザに「指輪とマジックローラー最高です。子どもに見せてあげたいと思います。そして、一緒に作りたい」、また「学年の終わりに別れを惜しむくらい、子どもとの心の通じ合いや学級での子どもの居場所づくりができていることがすばらしく目指したい姿だと心から思いました」との感想も寄せられました。

今日の講座を受けてさらに希望を持つことができました。

○先生の笑顔も素敵でした。

○心あたたまるお話をたくさん聞かせて頂いて勉強になりました。前田先生のように子どもの心を理解できる担任になれるように頑張ります。

○何もわからず「どうしよう」と悩んでいて、この勉強会に参加してよかったです。何よりみなさんが温かく教えて頂いたのが、うれしかったし、ホッとしました。

○マネできそうなものをたくさん知ることができました。絶対使います！

○初めて担任をもつことになって不安でいっぱいでした。今日のお話を聞いて本当に明日から実践できることばかりで、不安が解消されました。

子どもとの出会い楽しみ

○いろいろな技を教えていただきイメージがかたまってきました。始業式の子どもとの出会いが楽しみです。

○一日、今日と何をしていいかわからず職員室で事務的なことをしていました。

たんぽぽだより 4月

3月のたんぽぽの会では新しい仲間が参加してくれるなか、みんなで盛り上げた、青年フェスタの感想を交流しました。

新しい仲間と触れ合えたこと、大阪市教の青年が実行委員としてフェスタを盛り上げたこと、夜遅くまで語り合ったこと、そして何より大阪市教に仲間が入ってくれたことなど来年が楽しみになる交流になりました。また、「日の丸・君が代」についての学習もし、常時掲揚の押しつけやピアノ伴奏の押しつけについて青年の立場で何ができるか、意見を交換できました。次は4月24日の私たち大阪市教のしんかんフェスタ。昨年も、たくさんの仲間との出会いがありました。今年は富安陽子さんのお話に青年でつくるオープニングや交流パーティー。実行委員会にたくさんの仲間に入ってもらい、みんなで盛り上げていきたいと勢いが加速したたんぽぽの会になりました。

おもしろグッズ買い物ツアー 4/3

連続講座翌日の4月3日、講師の前田睦男さんの案内でおもちゃの問屋街、大阪市中央区の松屋町「おもしろグッズ買い物ツアー」が行われました。

15名の参加者はたくさんの店をまわり、学級びらきや授業で使える玩具を購入し、互いに紹介しあいました。

その後、近くのカフェに場所を移しお互いに交流を深めることができました。

参加者からは、「いろいろなお店を回れて楽しかった」「また、屋外での学習講座をひらいてほしい」などの声が聞かれ、短い時間でしたが有意義なひと時を過ごすことができました。

新たな市政改革骨子(案)

市対連 批判学習会 3/26

大阪市対策連絡会議（市対連）は3月26日「新たな市政改革の骨子（案）」の批判学習会を行いました。大阪市は今秋「素案」を発表し来年4月から次期市政改革の取り組みをすすめるとしパブリックコメントを求めています。

立命館大学の森教授は、骨子（案）が市民サービス切捨て職員減らしの「経費削減の取組」や「事務事業総点検」の「成果」を引き継ぐものであることを指摘しました。また、「地域主権」と公共サービスを行政・市民・企業など社会全体で担う「公共の再編」を打ち出している点について「地域のことは地域で決めます」と言うが、社会的弱者や零細企業の声を吸い上げる仕組みがないと批判しました。

市対連は、格差拡大、弱肉強食の構造改革路線によって、地方は切り捨てられ、地域と地方自治が脅かされ、地域経済は疲弊し、中小・零細企業は大変な状況であること、無保険の子が4319人、認可保育所待機児童が1144人となっており、児童虐待事件も起こっている深刻な子どもの貧困などを解決する具体的な施策を求めるパブリックコメントを集中することを市民団体によびかけました。

検診事業一部改善

市教委は10年度の検診・予防事業の見直し提案を市教協に行ないました。①定期健康診断を週20時間以上勤務者に実施。②胸部レントゲンを全員に実施。③節目健康診断は40、50歳の全教職員（非常勤・アルバイト除く）が対象に変更。④B型肝炎予防接種の廃止。

市教協はB型肝炎予防接種の廃止については「廃止すべきでない」と強く申し入れました。

8時15分当番退勤17時

市教委の準備不足でICカードによる出退勤管理が4月は出勤簿と併用となりました。3月26日付教育長通知「勤務時間の割振り変更の取り扱いについて」で、8時15分から校門指導等の場合、退勤時刻は17時となります。詳細は3月31日付討議資料・Q&A〈改訂版〉を参照して下さい。

学財システムで学校はどうなる

事務職員部は3月5日職場実践交流会を開催しました。

財務会計システム拡充整備の練習課題について、「財務パソコンのCDホルダーが不具合で、ICカード管理のソフトが、インストールできなかった」「財務会計システム拡充整備の練習問題が、うまくできなかった。学校の練習ではなく、事務センターがパソコンの動き具合を見極めているのではないか」等の意見が出され事務処理システムの問題点が浮き彫りになりました。

また「財務会計用パソコンが、新しく購入できないのはおかしいじゃないか」「名札の購入や雑誌の契約など、今の契約方法では時間がかかる。特名契約ではなぜだめなのか」「来年度から中学校の一泊移住が積立金になるが、移行措置はあるのか」「中学校で一名減になる事務分担の軽減をどうするのか」など、新しくなる維持運営費や徴収金の意見交換が活発になされました。

大阪市教は、市教委に対して「学校財務会計システム拡充整備事業」に関する緊急要求書を提出し、一人一台のパソコンを整備するよう要求しています。

なくせ貧困

3・21府民大集会

貧困なくせ、生活危機突破府民大集会が3月21日扇町公園で開かれ、4千人をこえる市民が参加しました。

集会アピールは、鳩山政権の後期高齢者医療制度廃止の先送り、労働者派遣法改正での「使い捨て」労働の温存、普天間基地問題での重大な後退などを指摘し、公約を守らせるたたかいを強める共同、「国民が主人公」の政治実現への参議院選挙での奮闘、財界大企業の利益優先、府民生活犠牲の橋下府政を府民共同の力で転換することを呼びかけました。

退職されたみなさんを囲む会

5月28日(金) 18時30分
パル法円坂(森ノ宮・谷四)